

令和2年3月期 第1四半期決算短信（非連結） 補足資料

株式会社ヒップ

令和元年8月8日

2020年3月期 第1四半期 決算概要（非連結）

稼働人員の増加、1時間当たりの技術料金も上昇により売上高は前年同期比0.1%増加。利益面は、技術料金の上昇など増加要因はあるものの、非常に高水準であった前年同期の稼働率に比べ低下したことや、期初から慎重であった顧客による生産と残業の計画が出来つつあり、6月にかけて徐々に計画的な残業が馴染んできたものの、稼働工数が前期に比べ減少した影響により、売上高の伸びが鈍化したことが主な減少要因。但し、期初計画段階において、第1四半期での前年同期比の利益減少は織り込み済み。

	2019年3月期 第1四半期（実績）		2020年3月期 第1四半期（実績）		前年同期比		2020年3月期 （通期予想）	
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	増減額	増減率	金額 （百万円）	構成比 （%）
売上高	1,319	100.0	1,321	100.0	+1	+0.1	5,584	100.0
営業利益	105	8.0	102	7.8	2	2.4	539	9.7
経常利益	104	7.9	102	7.7	2	2.4	536	9.6
四半期純利益	71	5.4	69	5.3	1	2.0	362	6.5

上記の業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますので、予想に内在する不確定要因や、今後の事業運営における状況の変化等により、実際の業績は上記に記載した予想数値と異なる場合がありますことをご了解ください。

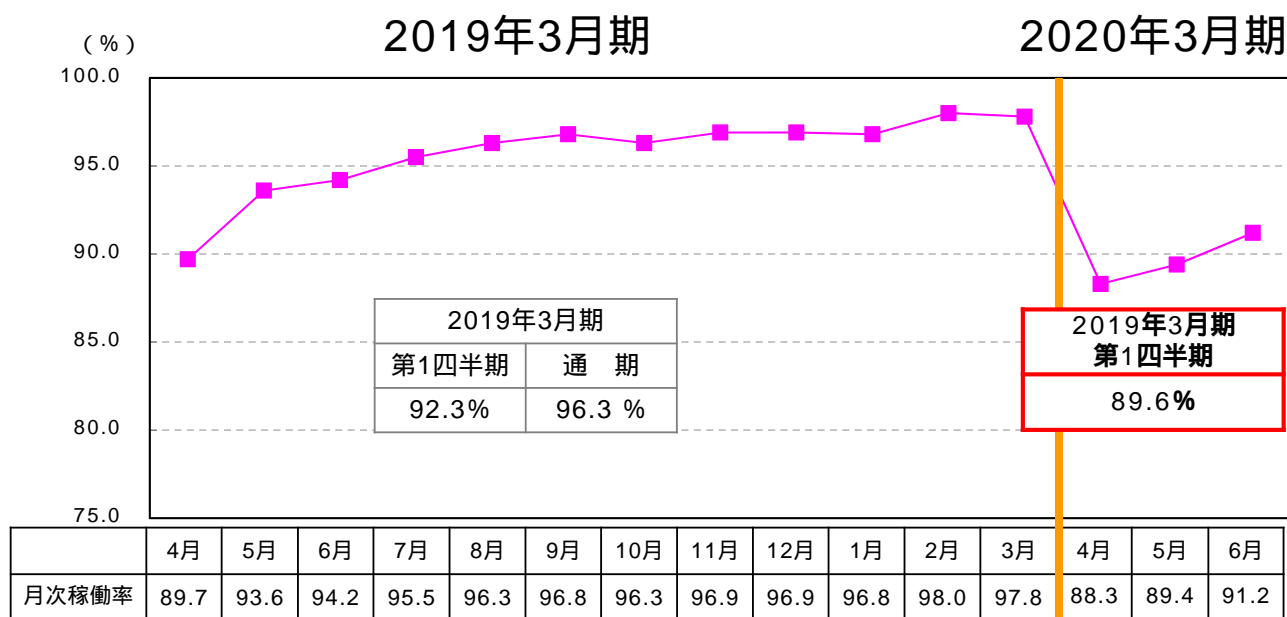
各種指標について（前年同期比較）

- 稼働率 ・ ・ 新卒入社数の増加や一部地域での慎重な立ち上がりの影響もあり、高水準であった昨年と比べ低下したが、概ね期初計画の水準で推移。
- 技術料金 ・ ・ 技術者の業務レベルやスキルに応じた技術料金の契約交渉に努め、前年同期比 87円上昇。
- 稼働時間 ・ ・ 顧客各社の残業に対する慎重さがみられ、前年同期比0.19H減少。
- 技術者数 ・ ・ 2019年新卒は59人（前期比+7人）が入社し、前年同期比34人増。

	2019年3月期 第1四半期	2020年3月期 第1四半期	前年同期比
稼働率	92.3%	89.6%	2.7 p
技術料金	3,826円/H	3,913円/H	+87円/H
稼働時間	8.96H/人・日	8.77H/人・日	0.19H/人・日
期末技術者数	733人	767人	+34人

3

稼働率推移（2018年4月～2019年6月）



稼働率（%）＝稼働技術者数/技術社員総数×100

4

本資料は、当社の企業説明に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2019年8月8日現在のデータ等に基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、または、約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

HIP

Hybrid Innovation Project

本資料に関するお問い合わせ先

総務部 IR担当

〒220-0003 横浜市西区楠町8-8

TEL 045-328-1000

FAX 045-321-9111

E-mail ir@hip-pro.co.jpURL <https://www.hip-pro.co.jp>